

平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

上場会社名 日本精鉱株式会社 (コード番号 5729 東証・大証第二部)
(URL <http://www.nihonseiko.co.jp>)

代表者役職・氏名 代表取締役社長 田村 敏洋
問合せ先責任者役職・氏名 取締役企画管理部長 鳩川 勝美 TEL(03)3235-0021

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計 : 有
年度における認識の方法との相違の有無
当該四半期業績の概況の作成にあたっては、固定資産の減価償却の方法等、一部簡便的な方法を採用しております。

2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 売上高および経常利益

(百万円未満は切り捨てて表示)

	売上高		経常利益	
	百万円	%	百万円	%
平成16年3月期第1四半期	1,136	12.5	124	33.0
平成15年3月期第1四半期	1,009	13.8	93	440.9
(参考)平成15年3月期	4,217		361	

(注) パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示す。

【補足説明】

〈売上高〉

アンチモン事業セグメントは、当該四半期においては中国からを中心とする輸入品に押され、数量的には前年同期比約1割減少しましたが、原料地金の相場の上昇に伴い、製品価格が約4割アップしたため、売上高は前年同期比20.6%の増加となりました。
一方、金属粉末事業セグメントは、粗粉の売上高が前年同期比1割弱の落込みとなりましたが、相対的に単価の高い微粉が増販によって売上高が2割強アップしたため、同セグメントの売上高は前年同期比4.8%の増加となりました。

〈経常利益〉

アンチモン事業セグメントは、売上総利益の絶対額の増加に加え、販管費の削減に努めた結果、経常利益は前年同期比約2.8倍となりました。一方、金属粉末事業セグメントは、前年同期比6.5%の増加であります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当社は、平成15年6月12日に住友金属鉱山株式会社より三酸化アンチモンの営業を譲受けることについて同社と基本合意書を締結し、同日その旨公表を致しました。
その後、7月4日に公正取引委員会より本営業譲渡に関し独占禁止法上問題がない旨の確認を戴き、爾後各顧客の引継ぎ作業に着手しましたので、当該四半期においては本件による影響はまだ生じておりません。

(3) 平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

現在のところ、平成15年5月22日に公表しました当初予想から変動はありません。

以上